

## 平成30年度事業報告

当協会は、平成30年度において、定款に掲げる目的を達成するため、寄附金、協賛金、賛助金、公益財団法人JKAからの競輪公益資金による補助金、独立行政法人日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ助成金等を得て、以下の事業を実施した。

### 1 ツール・ド・北海道競技会の開催

第32回目を迎えた自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2018」は、平成30年9月7日から9月9日までの3日間にわたり、北海道の道北・道東地域（旭川市、帯広市、北見市など関係20市町）において、一般公道を使用した町から町へと巡るロードレース（総走行距離536km）を実施する予定でしたが、大会前日の9月6日、北海道胆振管内厚真町を震源地とするマグニチュード6.5（最大震度7）の地震が発生し、北海道全域において停電（約300万世帯）、断水、通信障害、公共交通機関の不通等、基幹的な都市機能が壊滅的な打撃を受けたことから、同日、大会役員及び審判団で構成する緊急役員会議を開催して大会の可能性について協議した結果、①競技会場（一般公道、その他）の安全性が確認できない。②大会運営に必要な警察をはじめとする関係行政機関の協力が得られない等の状況下において安全かつ円滑な大会運営は極めて困難と判断し「中止」を決定した。

### 2 ツール・ド・北海道による健康・体力の増進のための事業

上記1の競技会と併せ、一般市民の自由な参加による「市民ロードレース大会」を、9月8日から9日までの2日間、旭川市、遠軽町、当麻町等において実施する予定でしたが、上記と同じ理由により中止を決定した。

### 3 サイクルスポーツの普及・振興及び自転車利用の普及・啓発のための事業

定款に定める当協会の目的と同一の目的を有する他のサイクルスポーツ関係のイベントについて、次のとおり協力を行い、サイクルスポーツの普及・振興等に寄与した。

#### (1) 共催

次の大会については、ツール・ド・北海道2018の北海道地域選抜チーム選手選考会を兼ねており、共催した。

- ・ 2018 定山溪・豊羽サイクルロードレース（6/16～17、札幌市）

#### (2) 後援

次の大会について後援した。

- ① 5/13 第37回道新杯サイクルロードレース（長沼町）
- ② 6/3 The 25th Mt.Moiwa hill climb（札幌市）
- ③ 6/24 第18回北海道ママチャリ耐久リレー大会（札幌市）

- ④ 6/24 第6回留萌新聞社杯ヒルクライム（小平町）
- ⑤ 7/7～8 NISEKO CLASSIC UCI グランfond（倶知安町）
- ⑥ 7/21～22 第15回サロベツ100マイルロードレース（豊富町）
- ⑦ 8/4～5 第9回ニセコ HANAZONO ヒルクライム（倶知安町）
- ⑧ 8/26 第5回かみふらの十勝岳ヒルクライム（上富良野町）
- ⑨ 8/26 第16回 Sapporo 小・中学生サイクルロードレース（札幌市）
- ⑩ 8/26 第11回モエレ沼タイムトライアル（札幌市）

#### 4 その他

##### (1) 理事会

###### ア 第1回

平成30年5月25日、平成29年度事業報告及び決算等について

###### イ 第2回

平成31年3月13日、平成31年度事業計画及び収支予算について、ツール・北海道2019実施概要等について

##### (2) 評議員会

平成30年6月20日（定時評議員会）、平成29年度事業報告、決算及び基本財産の取扱いについて、理事の選任について

以上